



MY JOB WENT TO VIETNAM?

14-E-7

あまのりよー

ソニーデジタルネットワークアプリケーションズ株式会社

#devsumiE

プロジェクトファシリテーター協会

Who am I?

- メーカー系のソフトウェア開発会社に勤務
- 自称「**チアリーダー**」としていろんな現場に首を突っ込みながら日々を過ごしています
- プロジェクトファシリテーター協会副理事

もっと知りたい

Google

勝手に紹介 あまのりょー

[ウェブ](#) [画像](#) [地図](#) [ショッピング](#) [もっと見る](#) [検索ツール](#)

約 55,900 件 (0.16 秒)

[Manaslink連載 勝手にあの人紹介\(1\): あまのりょーさん | Manas...](#)www.manaslink.com/articles/8952 - キャッシュ2012/12/19 - Manaslink編集長の野史が、勝手に「あの人」を
ズ。第1回は、あまのりょーさん。

■かぶりものスペシャリスト

記念すべき第1回は「かぶりものスペシャリスト」のあまのりょーさんです。

IT業界のさかなクンさんのような存在です。とにかく、いつでもどこでも何かかぶります。魚ではなくて昆虫がご専門なので、「こんちゅうくん」と呼んでもよさそうなのですが、誰もそうは呼んでいないようです。チャレンジャーのどなたか、試してみてください！

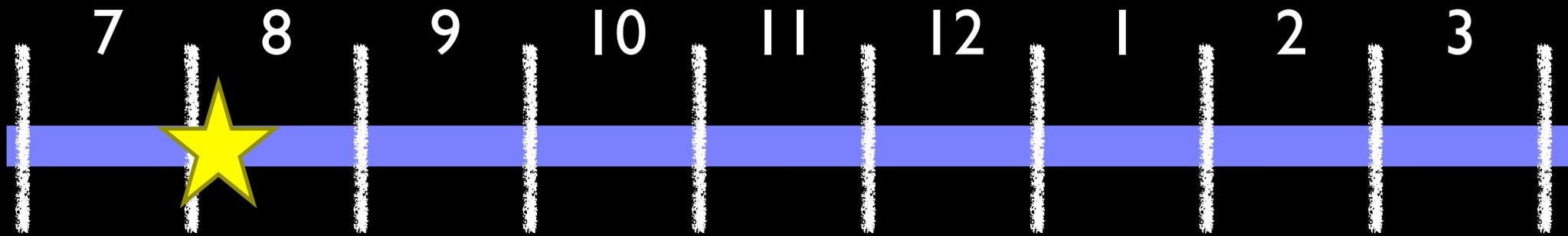


バクヂー玉子になりました！



プロジェクト概要

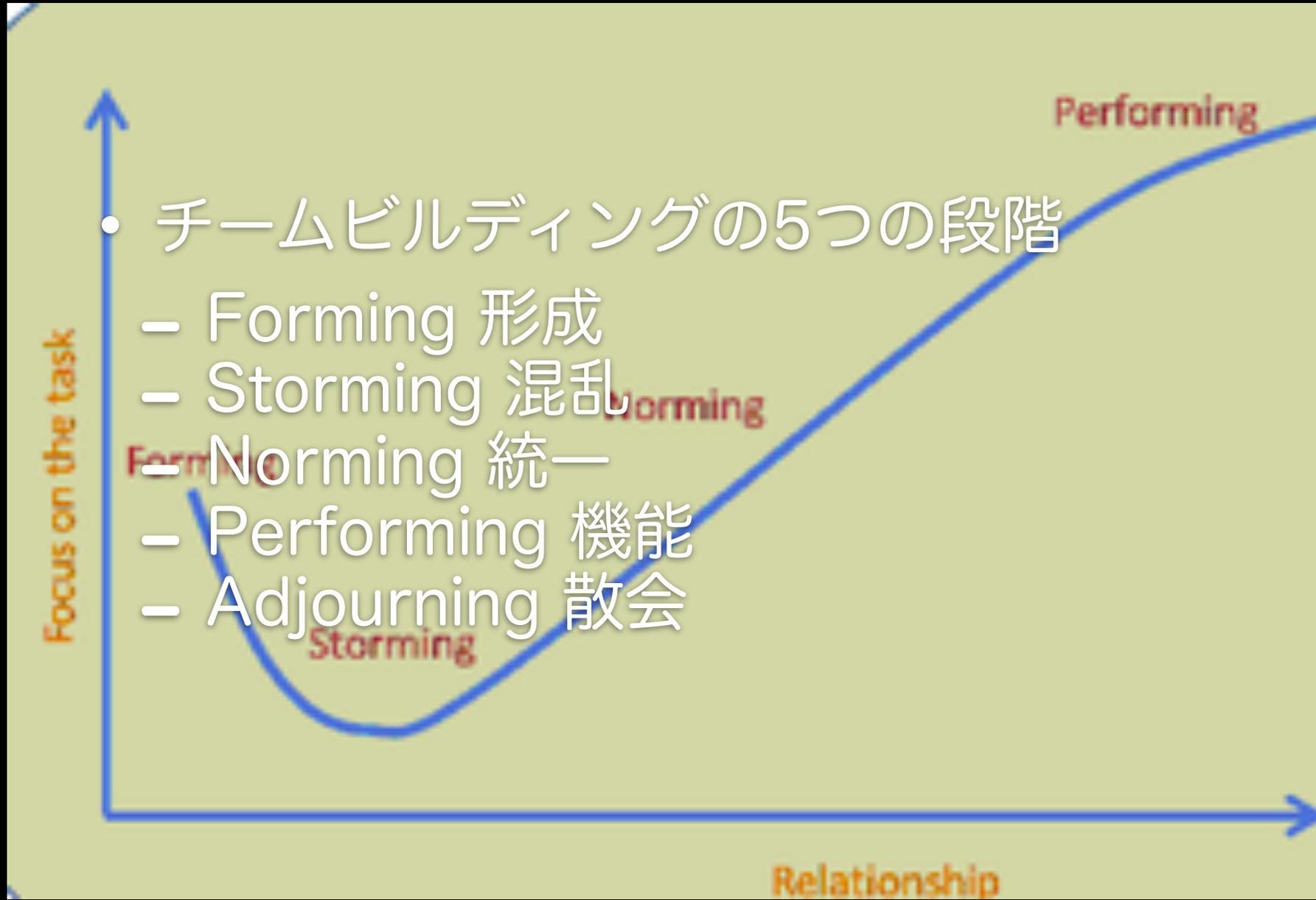
- メディア系Macアプリの開発
 - 時期がオーバーラップする2つのバージョン
- 開発期間およそ半年(2010.9~2011.3)
- Tokyo : 3~5名(うち一人はオフショア先のBSE)
- Hanoi : 設計実装4名、検証 4~7名



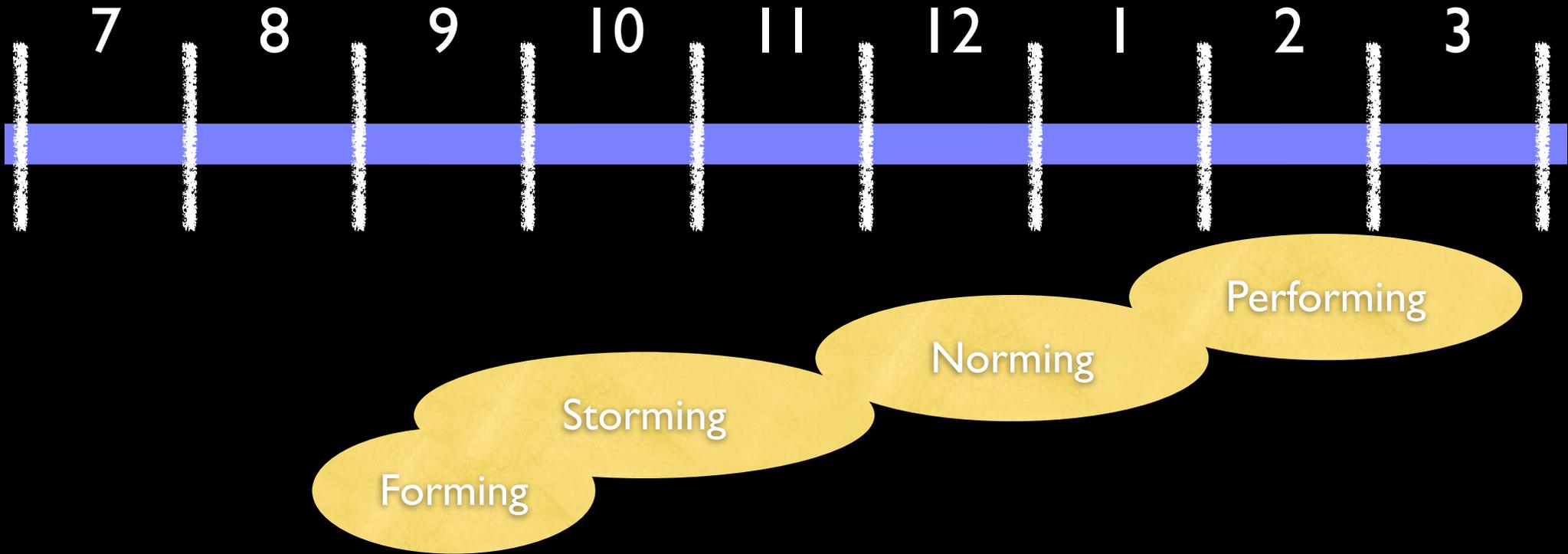
- オフショア開発でPLやるのは初めて...
 - しかもいままで一緒にやったことがある
中国の会社ではなく、
初めてに近いベトナムの会社だ
 - ハッキリ言おう、**激しく不安**

タックマン・モデル

(Tuckman's stages of group development)

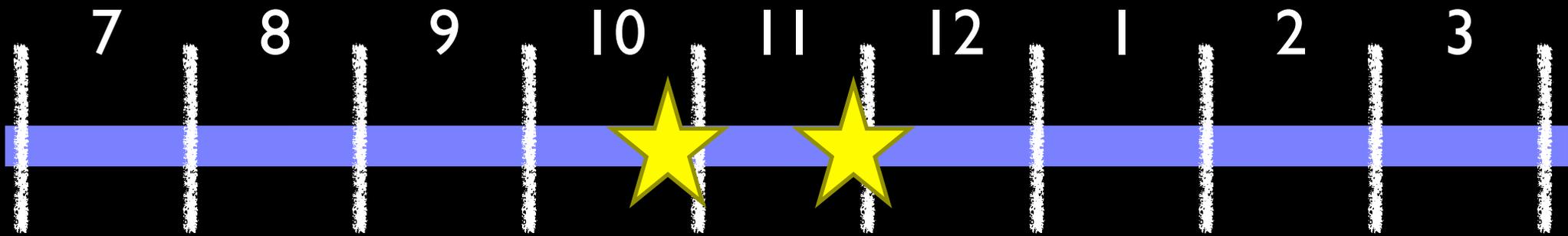


ふりかえるとこんな感じ



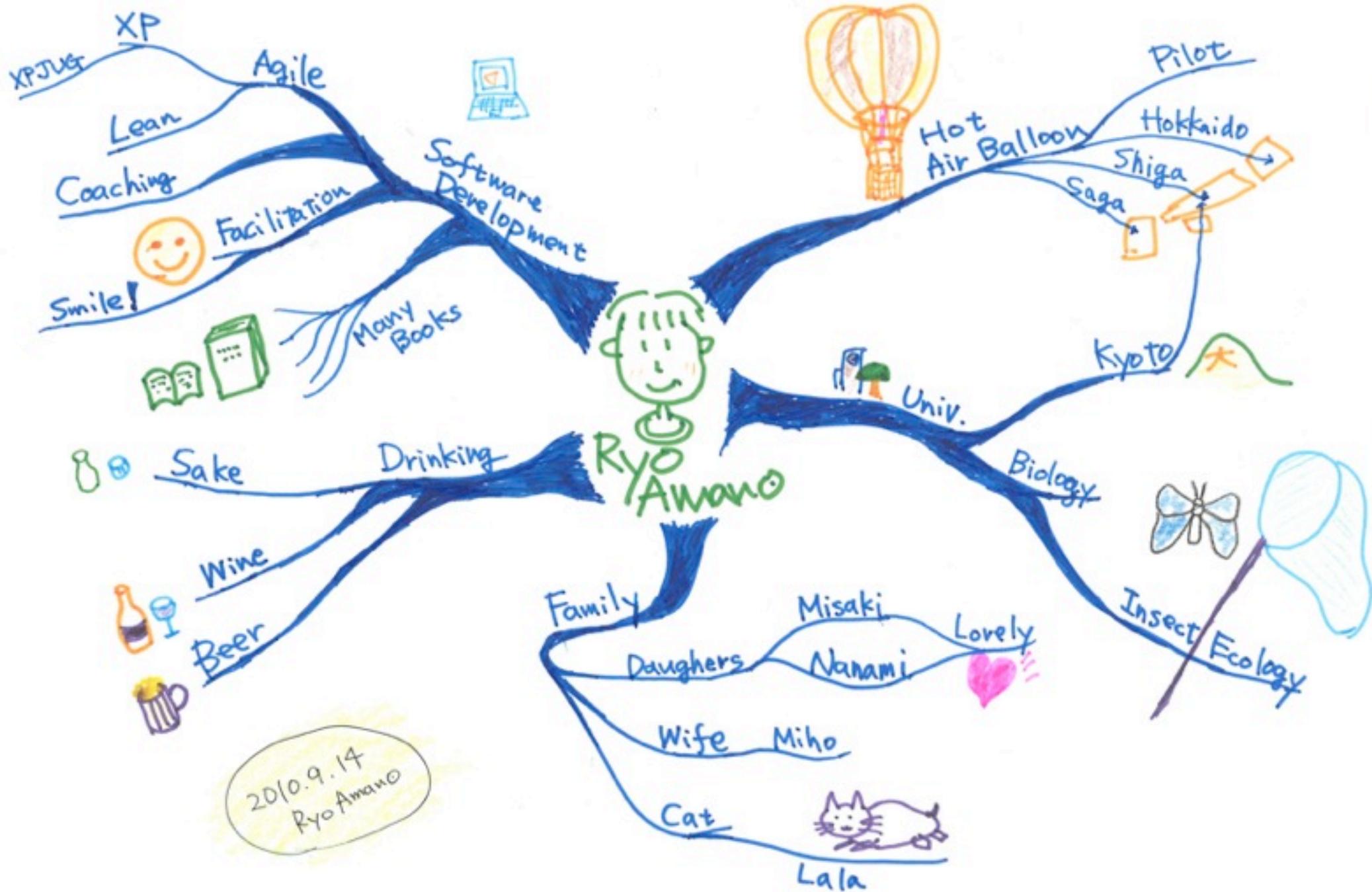
A dramatic sky filled with dark, heavy clouds. A faint rainbow is visible in the background, adding a sense of hope and resilience. The overall mood is one of perseverance and strength.

**Stormingは
必ずやってくる**



- PJ説明などのために2度出張 (+4月に1回)
- その後のコミュニケーションが
「顔が見える」ものに
 - 申請上の理由以上に重要、超重要

偏愛マップ



Chat

Chat

- PFの鉄板技であるスタンドアップミーティングはできないので...

Chat

- PFの鉄板技であるスタンドアップミーティングはできないので...
- 代わりにチャットをずっとつないでいた

Chat

- PFの鉄板技であるスタンドアップミーティングはできないので...
- 代わりにチャットをずっとつないでいた
- これ以外にも、記録に残してトレースすべき内容以外の、細かい技術的な話などは随時 chat で行った

Chat

- PFの鉄板技であるスタンドアップミーティングはできないので...
- 代わりにチャットをずっとつないでいた
- これ以外にも、記録に残してトレースすべき内容以外の、細かい技術的な話などは随時 chat で行った
- 正確さや厳密さよりも、何か聞けばすぐ答えてくれる、って感じてもらうことが重要、超重要

Our ways

- ビデオレター
- 週一のビデオ会議
- 会社自体のコアコンピテンスは考慮しつつ、技術的な出し惜しみはしない
 - そして彼らからも学ぶ



**あれ、オフシヨア
開発だから…
って部分はなくね?**

課題が残ったところ

- バージョン管理システムの利用
 - なぜ使うかに対する認識
 - ツールの使い方
 - 何度か大きな事故になりかけた
- セキュリティ意識
- 求められる品質特性に対する感覚
- et cetera...

**あれ、オフシヨア
開発だから (ry**

**経験が重要な部分はサ
ポートしつつ、あふれる
ようなモチベーションを
逆に補完してもらえれば
俺たち勝つる!**

なるほど、 Diversity

**発注側の手間を減らす
という意識でやると
いい結果にならない、
と思う**

後日談

Chat with Lan



後継PJの話も出始めていた3月、
プライベートのchatで私にとって特別に意味のあるやり取りがあった

Quyên rû



Amano-san

天野さん



Yes?

なに?



Why don't you in charge for next project?

Do you move to other project?

なんで次のプロジェクトは
天野さんが担当じゃないの?
よせにいっちゃうの?



ah,, that is complex to explain.

ぐぬぬ、ちょっとフクザツでね...

Yes, I will move to other project when this Pj. was done.

他PJに行くんだけど、、、

But I still support next Pj. as supervisor, perhaps.

もちろんサポートはするよ。



What a pity! えー!! めっちゃ残念...

I'm very happy working together with you in this project.

天野さんと仕事できたから
すごくハッピーだったのに...



Of course, me too !

それはもちろんオイラだって!



Hope that there are more projects in HN and we have a chance working together.

また一緒に仕事できるように、ハノイで
もっとプロジェクトあればなあ...



Maybe, we can co-work more.

きっといつか、また一緒にやろうぞ!



It's my pleasure.

嬉しいにゃん!



Thank you very much for your great support

we know that we might make mistake and brings inconvenience to you due to our inexperience.

I believe that we can work better in future project

なにかとサポートをホントにありがとうございました。

ハノイチームは、若くて経験も浅いし、間違いや至らないことも結構あったと思う。

次、一緒にやったらもっといい仕事をできるようになってると思います!



I think "Who we could work together?" is very important issue for quality of our life.

“誰と一緒に仕事するか”
って、とーっても重要だと考えてる
んだけど、どう思う？



To get success project, I think **we must have the same view, same objective.**

and **we support each other** to get success.

the above is my point of view

maybe it explains for question "Who we could work together?"

本気でプロジェクトを成功させるとしたら、
私たちはおなじ視点、おなじ目標を持たない
といけないと思う。

その上で、お互いに助けあいながら、
成功をつかんでいかないと。

、、、ってのは私の私見なんだけど。

“誰と一緒に仕事するか”という質問への答
えはきっとそこにあるんじゃないかなあ。

私のPFとしての最重要な 立脚点を知らなかった筈なのに

それどころか、このプロジェクトでは一切 PFやアジャイル
という単語を出したこともすらない

- **あの人と一緒に働きたいと思う人がいますか？**
- **そう思える人と一緒に仕事できていますか？**
- **自分もそう思われていますか？**

あれ、目から汗が...

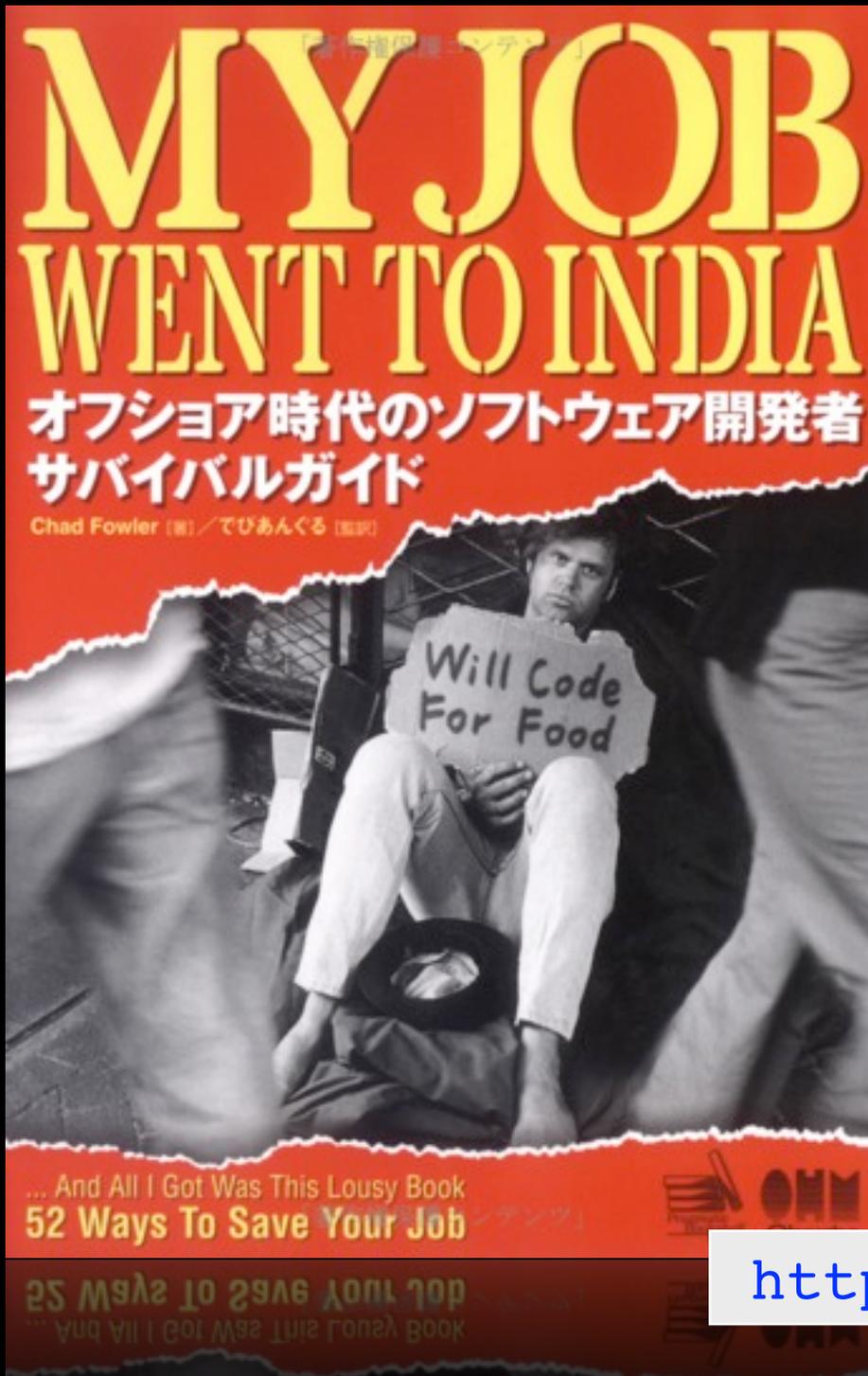
『Extreme Experience 「誰と」重要』

<http://mugiwara.jp/ki2/wifky.pl?p=ExtremeExperience>

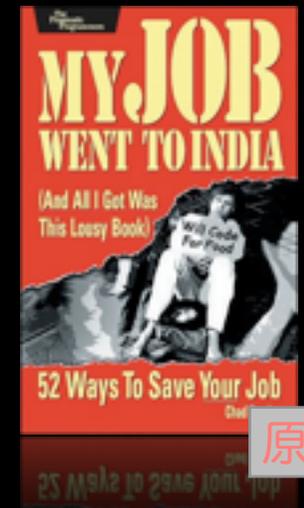


ところで、
今日のタイトル
ピンとききた方？

Yes



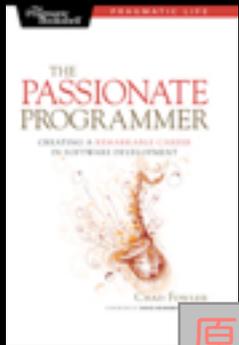
2006.9 刊行
(原著 2005.9)



<http://amazon.jp/dp/4274066592>

Currently

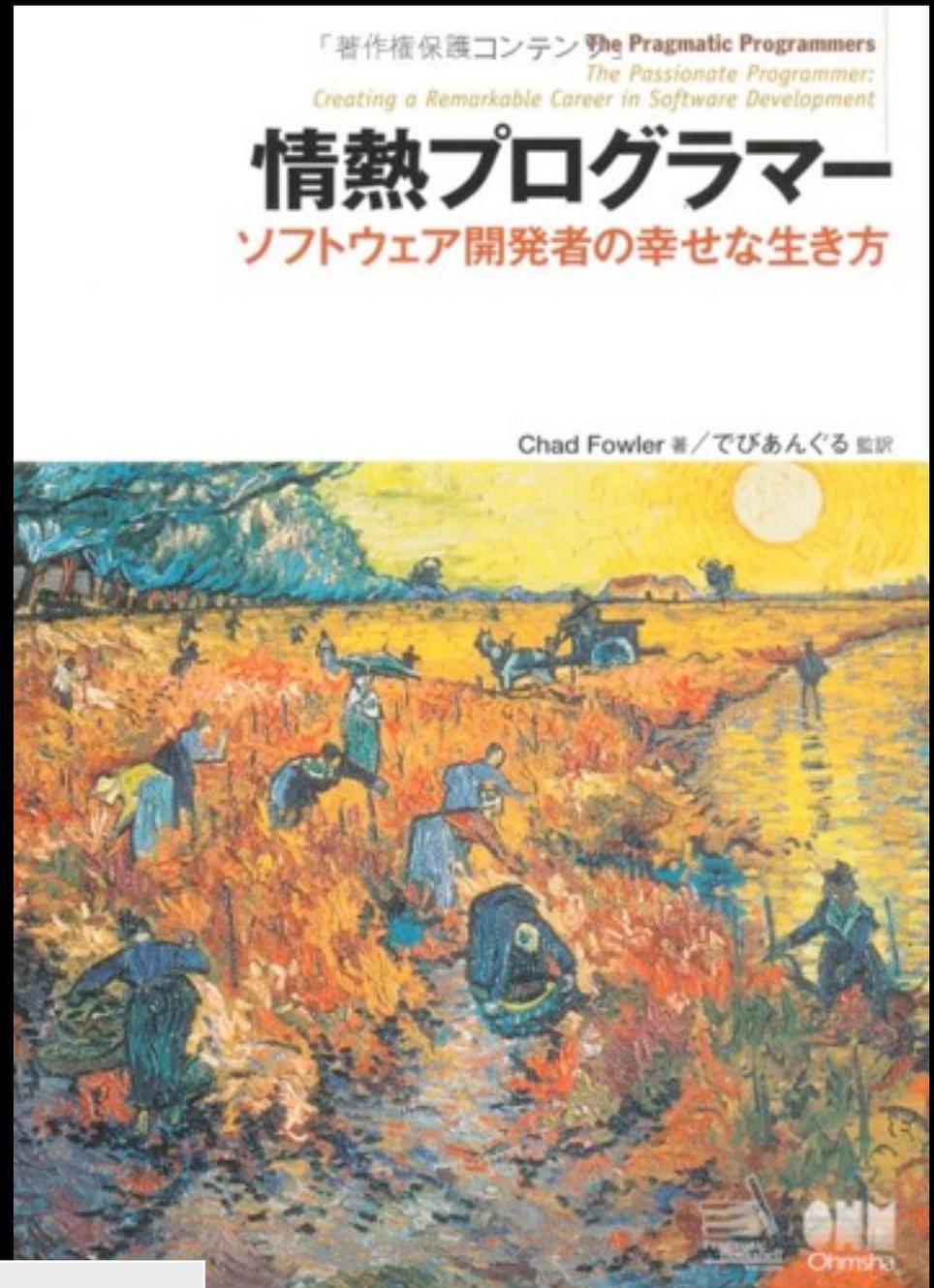
2nd. Edition にて
タイトルも表紙も変更



原著

2010.2 刊行
(原著 2009.6)

<http://amazon.jp/dp/4274067939>

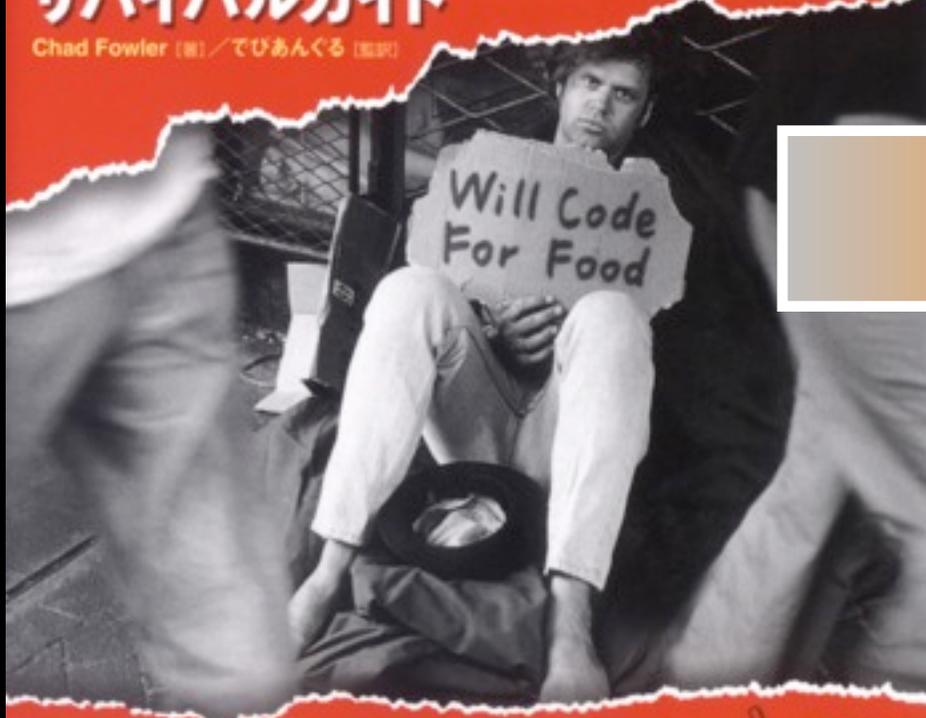


MY JOB WENT TO INDIA

「著作権保護コンテンツ」

オフショア時代のソフトウェア開発者 サバイバルガイド

Chad Fowler (著) / てびあんぐる (監訳)



... And All I Got Was This Lousy Book
52 Ways To Save Your Job

「著作権保護コンテンツ」



「著作権保護コンテンツ」 **The Pragmatic Programmers**
*The Passionate Programmer:
Creating a Remarkable Career in Software Development*

情熱プログラマー

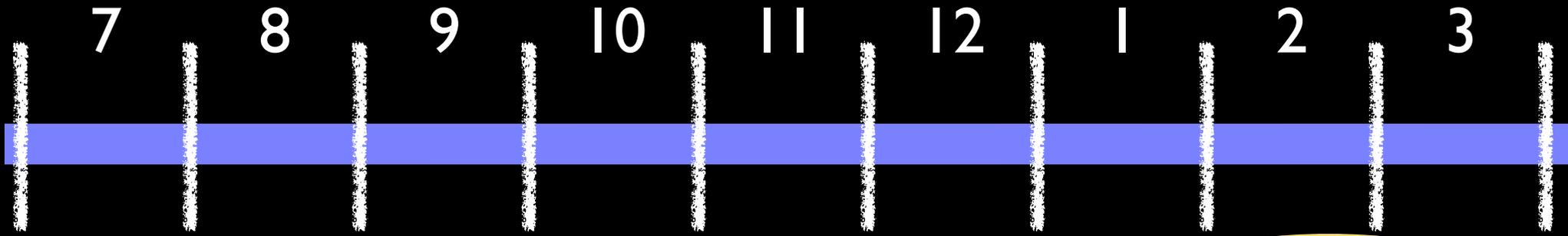
ソフトウェア開発者の幸せな生き方

Chad Fowler 著 / てびあんぐる 監訳



52 Ways To Save Your Job
... And All I Got Was This Lousy Book





~~オフショア開発いやん~~

~~オフショア開発いい!~~

A group of people are riding a yellow roller coaster car. They are all smiling and waving their hands, appearing to be enjoying the ride. The car is yellow with black and red accents. The background is a clear blue sky. The text "状況そのものを楽しめるか?" is overlaid in the center of the image.

状況そのものを
楽しめるか?

あれ、オフショア(ry

**MY JOB IS
STILL IN HERE AND THERE**

